

がんまき 議会だより

第104号
平成30年5月1日号



春光の中 それぞれの飛翔

TOPICS

30年度予算	2~5
3月定例議会	6・7
議決結果	8
特別委員会	9
表彰について・議会日誌	10
一般質問	10~15
第7回議会報告会	16

記事を見やすく
2色刷りに変更しました!

平成30年度の各会計予算を可決

平成30年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、住宅新築資金等貸付事業、下水道事業、水道事業の予算7議案については、3月20日の本会議で、予算特別委員長報告のとおり可決されました。

一般会計 72億2,061万2千円

入 る お 金	23億8,900万円	地方交付税	予	民生費	19億4,578万3千円	使 う お 金
	21億2,748万2千円	町 税		公債費	12億5,825万2千円	
	7億2,177万4千円	国庫支出金		総務費	9億2,826万8千円	
	5億9,060万円	町 債		衛生費	8億592万3千円	
	4億8,680万7千円	県支出金	算	教育費	7億2,895万3千円	
	3億3,990万5千円	地方消費税交付金		諸支出金	5億7,991万6千円	
	1億9,768万3千円	使用料及び手数料		土木費	4億7,904万8千円	
	8,630万4千円	分担金及び負担金	概	消防費	3億426万7千円	
	4,982万7千円	地方譲与税		議会費	1億15万円	
	4,856万6千円	繰入金		農林商工業費	8,004万8千円	
	4,589万2千円	配当割交付金	要	予備費	1,000万円	
	1億3,677万2千円	その他※		災害復旧費	4千円	

※その他は、利子割交付金・株式等譲渡所得割交付金・自動車取得税交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金・財産収入・寄附金・繰越金・諸収入

特別会計 54億196万9千円

国民健康保険	25億3,851万円
後期高齢者医療	3億4,066万4千円
介護保険(保険事業勘定)	17億5,353万4千円
介護保険(介護サービス勘定)	737万6千円
住宅新築資金等貸付事業	229万2千円
下水道事業	7億5,959万3千円

企業会計 5億3,930万5千円

水道事業 (収益的収入)	5億3,930万5千円
-----------------	-------------

予算特別委員会報告

平成30年度の予算7議案は全会一致で可決

3月5日の本会議で設置された予算特別委員会(委員長・東)は、委員長のほか委員5名(長岡、竹之内、遠山、吉中、堀内)で、9日と12日の2日間行われました。

同委員に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業特別会計7会計で、それぞれの会計予算について慎重審議の結果、全委員異議なく、原案の通り可決するものと決しました。

なお、これら7議案は、3月20日の本会議でも全会一致で可決しました。

【平成30年度の主な事業】

- ☆公用車のドライブレコーダーの設置
- ☆第一体育館温水シャワーユニット設置
- ☆有害ごみ回収用リサイクルポスト設置
- ☆町内道路の整備について
以上が主な事業内容になります。

一般会計予算

総括

平成30年予算について

問 この数年のうち最も厳しい状況下の予算編成において先々のこととも考えて、今後どのように財政運営を進めていくのか。

答 町の財政状況はまだまだ厳しいので、事業や施策を進めるにあたっては、補助金等を精査し見込めるものを予算化するようにして財源を確保していく。

歳入

町民税について

問 第5次総合計画の基本施策「商工業」にもある中小企業者への経営指導体制の充実や情報発信等を上牧町商工会等を通じて心掛けていただきたいがどうか。

答 関係部署とも協議をしながら今の法人数を下回ることの無いようにしていきたい。

固定資産税について

問 359万3千円の減額計上の要因は何か。

答 土地については前年度比の0.5%減で地価公示価格の下落傾向によるもので、家屋については2.7%減で評価替えによるものである。償却資産については7.3%増で未申告者等に対するものである。

町税滞納対策について

問 町税滞納対策としてコールセンターを活用するところであったが、収納率向上に向けて対策はどのように行うのか。

答 町税滞納については個人情報等もあるので十分な調査を行い法律の許す範囲で差押え等の対応も行い、使用料については督促通知、滞納者とも接触を図り対策に取り組んでいきたい。

町民プールについて

問 町民プールは月曜日休館であるが他の町民プールは夏季期間無休にしており、月曜開催の要望も多数あると思うがどうか。

答 町内体育施設の全てが条例上月曜日が休館となっているが夏季来場者が多いのは事実であり、今後検討していきたい。



上牧町民プール

コンビニ交付証明書について

問 他の自治体では戸籍や税証明書についてもコンビニ交付しているところもあるが、対象証明書を増やす計画はあるのか。

答 共同で電算化している2市5町のうち、住民票と印鑑証明書の発行に限っている自治体とも相談しながら決めていきたいと考えている。

一般会計予算

歳出

可燃ごみ運搬処理委託料について

- 問 運搬処理委託料1億8,954万円についての算出の根拠は。
- 答 平成28年11月から民間委託しているが、この実績に基づいて算出している。

地籍調査事業について

- 問 事業の内容は総額で1,707万5千円計上されたがその内容はどうか。
- 答 平成30年度は桜ヶ丘2丁目の閲覧と同3丁目の立会と測量を計画している。

橋梁長寿命化工事について

- 問 計画策定委託料414万8千円の内容とつも橋と外町橋の補修工事についての説明を求める。
- 答 平成26年道路法施行令の改正により5年に一度の法定点検に変更され平成30年度において個別長寿命化計画を策定するものである。そのうち、つも橋の長寿命化工事4,142万6千円は平成30年度が最終であり、外町橋補修工事4,542万6千円も計上した。



服部台明星線改良工事について

- 問 道路改良事業5,537万8千円の説明と完成の見通しは。
- 答 用地購入費1,707万2千円、建物補償1,542万1千円、道路改良工事2,288万5千円であり平成35年度に完成する見込みである。

予備費について

- 問 予備費の500万円から1,000万円に増額計上された理由と運用は。
- 答 施設の老朽化等の不測の事態に対応するために増額計上した。議会に対してはできるだけ協議や報告を行う方針である。

上牧町議会政務活動費について

- 問 上牧町議会では政務活動費を交付していないが政務活動費に対する考え方は。
- 答 平成25年度に制定された議会基本条例により議員の研修制度の充実をはかるべく議員研修費として議員一人当たり1年間上限5万円を計上している。

ドライブレコーダー設置について

- 問 公用車へのドライブレコーダー設置について、設置の予定は。
- 答 新規に購入する2台を含め公用車55台に今年度中に設置する予定であり、予算として162万5,400円を計上している。

カーブミラー設置について

- 問 カーブミラー設置について、各自治体から要望が出ている箇所について適切に対処しているか。
- 答 自治会より平成30年度として要望のあった箇所について予算計上させて頂いた。

ゾーン30について

- 問 ゾーン30について道路管理者としてもっと積極的に取り組んでほしいがどうか。
- 答 桜ヶ丘3丁目と下牧の2箇所で具体的な話を進めている。

いじめ対策調査委員会について

- 問 委員の構成と委員会はどのように開催されるのか。
- 答 委員については心理・教育専門家、弁護士、社会福祉士、精神医療関係者で構成され、いじめ問題が発生した場合に協議する委員会である。

滝川遊歩道について

問 滝川遊歩道自転車道公園整備に伴う実施計画委託料について。

答 基本計画に携わって頂いたNPO法人や奈良県立大学の方々とも詳しく協議をし進めていく。



滝川遊歩道

まきっ子塾について

問 上牧町放課後塾「まきっ子塾」の考え方について。

答 家庭学習の習慣をつけることで、基礎学力の向上を図ることを目的としている。

上牧町第一体育館シャワーユニット設置工事について

問 設置場所、工事内容について。

答 プール更衣室のシャワーを給湯型のものに改築するもので、緊急時の避難場所に指定されているため、利便性を高めるための設置である。

子ども子育て支援事業について

問 子ども子育て支援事業計画策定委託料235万4千円の内訳について。

答 支援施策を効果的に推進するために、平成30年度から31年度で、計画策定をし、就学前・就学児童の保護者アンケートを行いニーズ調査、分析、及び課題の抽出し計画を策定する。

マリッジソーターについて

問 出会い・結婚応援事業委託料内訳について。

答 出会いイベント3回、マリッジソーター3期生募集、結婚を希望する方を対象にした相談事業を毎月1回予定している。

国民健康保険特別会計

国民健康保険予算項目の変更について

問 国民健康保険の財政運営の県単位化が平成30年度より実施される。主な変更点について説明を求める。

答 平成30年度から町は県との間で、歳出において「国民健康保険事業納付金」を拠出し、歳入で「保険給付費等交付金」を受領する。

健康優良世帯表彰について

問 健康優良世帯表彰について、表彰予定世帯は。

答 表彰は10世帯を予定している。

けんしんGO!ポイント事業について

問 プレゼント配布予定数は。

答 プレゼントは入浴券で800人を予定している。

下水道事業特別会計

公共下水道事業・委託料について

問 上牧町下水道ストックマネジメント計画の策定期間は。

答 平成30年度で実施する予定である。

介護保険特別会計

認知症総合支援について

問 認知症総合支援事業の説明を求める。

答 認知症、認知症予備軍の支援体制として、専門家による相談、認知症カフェ、訪問活動、平成30年度から小学校4年生に認知症サポートー講座を実施する。

水道事業会計

水道事業費用・営業費用・総係費・委託料について

問 経営戦略等策定委託料750万円について説明を求める。

答 水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するため、中長期的な視点に立ち、効率的、効果的に水道施設を管理運営する計画策定。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

総務建設常任委員会報告

総務建設常任委員会では主に行政一般や財政、道路河川、農林商工業についての議案を審議します。

上牧町機構改革に伴う関係条例の整理について

- 問 まちづくり基本条例に基づき、社会情勢の変化に応じ、町民にわかりやすく機能的な組織づくりとして、今回「こども支援課」の設置等を含む機構改革が行なわれた。職員の人的配置についての考え方をうかがう。
- 答 職員の配置については適材適所の配置を考えているが、調整する所は多くあり、住民にはご理解も頂く事になる。住民サービスを第一に考え各課が連携し、職員が一丸となって業務を遂行できるよう進めていく。

上牧町まちづくり基本条例検証委員会設置条例の制定について

- 問 まちづくり基本条例検証委員会が設置される理由と役割、今後の進め方について伺う。
- 答 まちづくり基本条例は平成26年4月に施行された。条例第38条第2項には検討を行なう場合は検討委員会を設置しなければならないとあり、この規定に基づき設置するものである。また役割については、これまで検証結果を町民へ公表してきたが、委員会で検証と評価を行い、まちづくりの改善に役立てる。

歳 入

自動販売機の活用について

- 問 自動販売機使用料3万6千円の増額計上に関し、自動販売機の収益の一部を利用したWifi回線や防犯カメラの設置など、災害時の活用についての取り組み状況はどうか。
- 答 現在15台の自動販売機を設置しているが、業者によると年間4千本売れないことにはこの事業は難しく、その条件を満たすのは庁舎内の1台だけである。今後災害時の対応も含め業者とも協議していく。

歳 出

児童手当について

- 問 児童手当1,451万円の減額要因は何か。
- 答 平成28年度決算をもとに29年度当初予算で、宅地開発に伴う転入で50名の増員を見込んだが、それ以上の少子化に伴い実数で延べ9,506名と427名減となったものである。



小中学校空調設備整備事業について

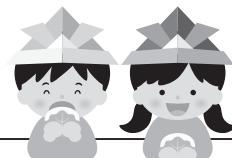
- 問 小中学校空調設備事業費3億1,899万2千円の財源について、国庫補助金4,119万4千円の算出と単独分起債充当率75%の説明を求める。
- 答 国庫補助の基準が教室の面積によって決められ、枚数を掛けた結果である。単独分充当率は100%が可能であるが、今後の財政計画からみて75%とした。

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書(案)

石丸議員より、4名の賛成議員と共に提案がありました。

2017年7月、国連で核兵器禁止条約が採択され各国による条約への署名が始まっています。

「非核・平和都市宣言」の町の議会として、日本政府に条約への調印を求める意見書です。



以上採決の結果、全委員異議無く可決するものと決しました。

文教厚生常任委員会報告

文教厚生常任委員会では主に社会福祉や保健衛生、教育、下水道についての議案を審議します。

上牧町国民健康保険税条例の一部改正

平成30年4月1日より国保の保険者は奈良県になる。

上牧町国民健康保険条例の一部改正

国保の県単位化により、「国民健康保険運営協議会」を「上牧町の国民健康保険事業の運営に関する協議会」に名称を変更する。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

平成30年度以降後期高齢者になった人も住所地特例が適用される。

上牧町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の制定について

指定居宅介護支援事業所の指定窓口が奈良県から上牧町に変更になり、生き活き対策課が担当する。

上牧町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険と障害福祉のサービスと同じ事業所で受けられるようになった。



上牧町介護保険条例の一部改正

問 第7期介護保険料はいくらか。

答 基準額で月額200円引き下げられ5千円である。

問 第7期介護保険料の算定根拠は。

答 介護認定者の伸びを6%と見込んだが、3%の伸びにとどまり、介護予防についての住民の意識が高まっている。介護給付費準備基金1億8千万円を繰り入れて保険料の上昇を抑えた。

平成29年度 介護保険特別会計補正予算(第3回)

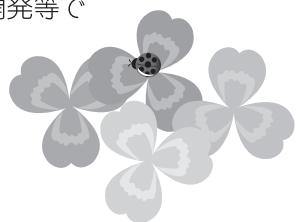
問 介護サービス等諸費3億6千万円の減額の説明をもとめる。

答 居宅介護サービス9千万円と施設介護サービス4千万円の減。地域密着型介護サービスは参入業者がなく2億3千万円の減となった。

平成29年度 水道事業会計補正予算(第3回)

問 給水収益増加の要因は。

答 ささゆり台周辺の住宅開発等で增收となった。



委員会に付託しなかった議案

■平成29年度 一般会計補正予算(第7回)専決処分

上牧町機構改革に伴う本庁舎と2000年会館の改修工事費……3,747万5千円

■教育長の選任

松浦 教雄さん（上牧） 再任

■人権擁護委員候補者の推薦

蒲池 捷義さん（上牧） 再任

中村 直美さん（桜ヶ丘） 新任

以上採決の結果、全委員異議無く可決するものと決しました。

平成30年3月 定例会の議決結果

(平成30年3月5日～3月20日)

○賛成 ●反対 一除斥 ×棄権 空白は欠席

議案名	議決結果	石丸典子	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	吉中隆昭	長岡照美	富木つや子	服部公英	堀内英樹	康村昌史	東充洋	辻誠一
専決処分報告 平成29年度上牧町一般会計補正予算(第7回)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町機構改革に伴う関係条例の整理	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町まちづくり基本条例検証委員会設置条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上牧町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度上牧町一般会計補正予算(第8回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度上牧町水道事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度上牧町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育長の任命	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

第6回ごみ処理問題特別委員会 2月9日

| 可燃ごみ処理実績について

平成28年11月に中継施設が稼働し、1年3か月経過しました。可燃ごみ処理量は、月平均約436トンで、経費は年間で、約1億8400万円です。(単価はトンあたり35100円)

問 ごみ減量化の取り組みはどうか。

答 リサイクル・リユース・リデュースの推進と共に、今年度は草木の堆肥化を実施した。また、生ごみの80%が水分であるため、生ごみの水切りについて啓発している。

学校給食から出る生ごみの堆肥化を予定していたが、運搬費で経費がかかるため難しい。

| 一般廃棄物処理基本計画について

山辺・県北西部広域環境衛生組合(上牧町を含む10市町村)の計画に基づき、上牧町のごみ処理基本計画案の説明がありました。平成30年度から15年間の計画で、5年ごとに見直しが行われます。特徴は、プラスチック製容器包装品が分別品に加わります。

| プラスチック製容器包装について

平成35年度(2023年度)からの広域処理で、分別品目が統一されるため、町では2020年度から指定袋でプラスチック製容器包装品を回収する予定です。

問 新たな分別には、十分な説明が必要である。高齢者や障害者への支援策と収集場所について研究していただきたい。

答 皆さんの協力が得られるよう、説明会を予定している。収集方法・収集場所など今後調査をして進める。



プラスチック製容器包装のマーク
「PETボトル」に含まれるもの除外

財政問題特別委員会の議事内容

本町の財政状況は、大型商業施設等の建設により、自主財源である固定資産税等の増となってきているが、依然として地方交付税などの歳入に頼っている。加えて土地開発公社の解散により借り入れを行った第三セクター等改革推進債の償還、老朽化した公共施設の改修経費の増大、ごみ処理の民間委託に伴う物件費増といった課題をかかえている。

これらの事から、将来的に持続可能な行政基盤の安定性を確保するために、中長期財政計画において、平成29年3月に策定された第5次総合計画前期実施計画を盛り込んだ中長期財政計画が議会に示された。

その示された中で、財政収支見通しや、総合計画の実施計画の進捗状況などを理事者側と中長期的な財政収支を推計し、限られた財源の効率的な運用を図れるよう、当特別委員会で議論された。

平成30年3月14日

上牧町議会は、地域の振興発展及び住民福祉向上のため議会の活性化に努めたことで、全国町村議會議長会より表彰されました。今後も住民と協働しながら更なる住民福祉向上に努めてまいります。



あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、一般質問原稿について、それぞれ質問をした各議員自らが要約し、編集したものをそのまま掲載しています。そのため記事により一部表現が異なる場合等がありますがご了承ください。

遠山 健太郎	1.自主財源(町税:個人住民税)について 2.上牧町の住宅政策について
堀内 英樹	1.将来を見据えた行財政運営をどう進めて行くのか
牧浦 秀俊	1.第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画について 2.上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
石丸 典子	1.国民健康保険の県単位化について 2.介護予防・生活支援サービス事業について 3.2000年会館の改修に関して

康村 昌史	1.住民サービスについて ～資源ゴミの個別回収を～
服部 公英	1.中長期財政計画について 2.住環境整備について
長岡 照美	1.学校での心肺蘇生教育の普及推進について 2.救急医療情報キット配布事業について
富木つや子	1.機構改革の見直しによる組織体制について 2.いじめ等の相談体制について 3.住民が安心で安全に暮らすために「特殊詐欺」被害の防止対策について
竹之内 剛	1.中学校の部活動、スポーツ少年団の指導のあり方について 2.スポーツ施設の使用状況及び設備について
東 充洋	1.会計年度任用職員制度について 2.高齢者へのごみ出し支援について

議会日誌

1月

- 6日 町消防団出初式
- 8日 町成人式
- 9日 広報委員会
- 13日 北葛支部連合出初式
- 16日 広報委員会
議員懇談会
- 17日 奈良県議会政策セミナー
- 18日 北葛城郡町議会議長会
- 23~24日 王寺周辺広域圏議長会



2月

- 1日 県広域消防組合西地区報告会
- 6日 北葛城郡町議会議長会総会
- 8日 葛城地区清掃事務組合議会
- 9日 ごみ処理問題特別委員会
(第6回)
議員懇談会
- 14日 財政問題特別委員会(第2回)
議員懇談会
- 15日 国民健康保険運営協議会
- 17日 議会報告会(第7回)
- 22日 静香苑環境施設組合議会
- 27日 山辺・県北西部広域環境衛生組合定例会

3月

- 1日 議会運営委員会
財政問題特別委員会(第3回)
- 5日 第1回定例会(初日)広報委員会
- 6日 文教厚生委員会
- 7日 総務建設委員会
- 9日・12日 予算特別委員会
- 14日 奈良県町村議会議長会定期総会
- 15日 一般質問(4名)
- 16日 一般質問(3名)
- 17日 一般質問(3名)
- 20日 第1回定例会(最終日)
- 23日 町シルバー人材センター理事会
- 26日 王寺周辺広域市町村圏協議会
王寺周辺広域市町村圏議長会
- 27日 町社会福祉協議会評議員会



ふるさと納税に対する取り組みについて



寄付によって流出する住民税に歯止めを！

遠山健太郎

問 上牧町において、ふるさと納税で流出してしまっている個人住民税はどの程度あるか。

答 ふるさと納税による寄付については、平成29年度課税分において、寄付者が391人(前年248人)、金額として約3242万円(前年約2058万円)、寄附控除額が約1463万円(前年約918万円)となっている。

問 ふるさと納税に対する上牧町の考え方として、高額返礼品に頼らない方針であることには一定の理解を示すが、ふるさと納税により住民税が流出してしまっている現状がある以上、その対策をすべきと考える。

加えて上牧町では、子育てママ就業支援事業に婚活プロジェクト、放課後塾まきっこ塾事業等、進行中の目玉と言える政策やプロジェクトがたくさんあるので、その施策に対する寄付を募る等、上牧町独自のふるさと納税による寄付を募る方法を提案したい。

答 現在は条例にある6つの政策提言による寄付を募っているが、具体的な施策までは発信していないので、今後は町の考え方に対する賛同してもらえるような具体的な施策の情報発信に努めていきたいと考えている。

問 小中学校エアコン設置事業については誰ひとり反対する声はないが、意外と費用がかかる。フルコストはどのように考えているのか。

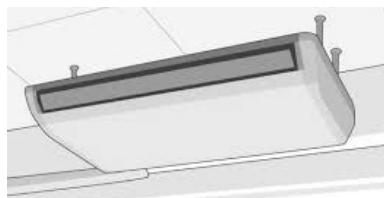
答 予算に計上した分は、3億1,899万1千円である。そのうち地方債借入額は2億2,610万円、償還期間が10年である。利率においては固定金利で0.5%と試算している。10年間の総支払利子は、626万1,000円となっている。

問 ランニングコストとして、例えば10年間の光熱水費や保守管理費が毎年かかるがどうか。

答 10年間で光熱水費が約1億円、補修については約1,800万円程度のコストが必要である。

問 このエアコン設備の耐用年数と更新時期はどのような目処か。

答 空調設備の関係であるが、途中で修理も発生していくと考えられる。いまの時点で更新時期は14年から20年位であろうと予測している。



小中学校エアコン設置 初期費用だけで済まぬ

意外とコスト必要
15年後に更新工事



堀内 英樹

第7期介護保険事業計画・ 高齢者保健福祉計画



牧浦 秀俊

介護保険料は?
サービスは?

問 第一に住民の方々が気になるのは、保険料だと思います。今回第7期の計画では前回の保険料を下回りました。これはやはり上牧町が色々と介護サービスを進められた成果でもあると思いますが、どのような点があると思いますか。

答 第6期では、介護認定数も年間6%の伸びと計画していたが3%の伸びでした。これ自体が大きなことなのですが、介護予防事業の施策を色々やってきた結果だと思われます。その中でも、寝たきりを防ぐ体操教室「ときめき体操クラブ」「ためとれ体操クラブ」も成果が出てきていると思います。

問 保険料が下がるのは、住民にとってはいいのですが、やはりサービスが低下しないのかということを単純に心配していますが、どうでしょうか。

答 上牧町では、基本理念として、介護が必要になっても、地域の実情に応じて、高齢者が尊厳を保持し、生活の質の維持・向上を図りつつ、可能な限り住み慣れた地域で安心して自立した日常生活を営み暮らし続けることができるよう、サービス向上をはかっていきたいと思います。

問 2017年度から、要支援1と要支援2の訪問介護(ホームヘルプサービス)と通所介護(デイサービス)は、総合事業に移行し、多様なサービスになりました。「緩和したサービス」「住民主体のサービス」「短期集中サービス」について、実施状況と担当手の育成は。

答 緩和した通所サービスは、2017年度中に立ち上げます。訪問介護サービスは、西和7町で協議をしているところです。住民主体の訪問介護サービスは、生活支援センター養成講座を修了した人「たすけ愛」17名が実施しています。2018年度も養成講座を予定しており、センターを20名にする目標です。短期集中サービスは、西大和リハビリ病院に委託しています。

問 総合事業費の上限額が国で決められているため、これまでのサービスを、緩和したサービスや住民主体のサービスに置き換えられることになります。利用者が、住み慣れた自宅で生活できるよう支援を求めます。

答 高齢者が体を動かしていただくことと、地域との関わりが持てるよう力を注いでいます。

介護予防・生活支援 サービス事業について



介護度が軽度の人への
支援策を

石丸 典子

住民サービスについて



ゴミの減量化等は
住民協力が不可欠

康村 昌史

問 プラスチック容器包装の上牧町での分別収集の今後の見通しは?

答 平成32年度に導入予定である。

問 有害ゴミの回収方法は。

答 回収箱を役場と片岡台出張所に置く。蛍光灯は割れないように箱に入れてもらい、乾電池と水銀体温計は透明の袋に入れてもらう。

問 平成28年11月にゴミ中継施設が稼働して、ゴミ処理の民間委託をおこなったが、増加したゴミ処理代はいくらか?

答 以前は21,700円／トンであったが、民間委託になって43,700円／トンになった。

問 上牧町のゴミ収集は、パッカー車4台とリサイクルカー3台、18人でおこなっている。

パッカー車は3人体制で収集作業をおこなっているが、2人体制にして余剰人員4名を資源ゴミの個別収集に回してはどうか。

答 2人体制にすると事故等の危険性が増えるため考えていない。

問 自治会によっては資源ゴミの個別収集を望んでおり、環境課は相談に応じるのか。

答 資源ゴミの収集場所を増やす場合などの相談に応じる。

問 町内の歩道を点検し安心して歩けるように。

答 早急に修理が必要な場所を直すようにします。

問 服部台明星線街路改良事業について進展は。

答 5年間で延長192メートル総額は3億2880万その内用地買収及び建物の補償2軒含む事業内容を進めて参ります。

問 焼却場解体事業について説明してください。

答 三角地区の地元住民との取決めで33年度末までに施設の解体を行い更地にします。その後は何も使いません。

問 それでは現在稼働しているゴミの持ち込み場所及びリサイクルの仕分け場所は今後どのように考えていますか。

答 今後の課題として検討しているところです。

問 北上牧地区の下水道整備について。

答 平成33年7月共用開始目標に高池周辺を重点的に進めていますが小集落改良事業で計画していた道路拡幅事業がなかなか進まないと言うことで本年度現在の道路状況にあつた認可変更申請を行いました。これにより今後は早く進んで行きます。

問 橋梁長寿命化計画について。

答 本年度、外町橋工事に着手完了します。

住環境の整備について



町内の歩道整備について

服部 公英

いじめは絶対に許されない 早期発見へ



SNSを活用した
相談体制を

富木つや子

問 平成28年度、全国のいじめの認知件数が前年度より10万件増えて、過去最多となっている。本町のいじめの状況と防止対策について伺う。

答 平成29年のいじめのアンケートでは、軽微なもので、小学校では43件、中学校では47件であった。現在は、学校の早急な対応により全て解消している。防止対策については、条例を定め基本方針を作成している。また、各専門の関係者によるいじめ対策連絡協議会を定期的に開き、いじめが重大にならないよう着実に取組んでいる。

問 いじめの早期発見、解決へSNSを活用した相談体制は。

答 大変有効な方法と認識をしている。県からも今後について通達が来ている。課題もあるが、町としても県や広域等、どの様な方法がいいのか調査しながら進めていく。

いじめは、絶対に許されない行為であり、いつでも、どこでも起こるという前提に立ち、今後も教育委員会、学校、家庭や地域と連携をし、いじめ防止対策に取組む。

問 学校において、児童生徒の突然の心停止から、命を救うためには、心肺蘇生やAEDの知識と技能を体系的に普及する必要がある。ジュニア救命士講座について伺う。

答 ジュニア救命士講座は、授業の一環としてアニメDVDの視聴・心臓マッサージやAEDの心肺蘇生など、命の大切さや救命法の重要性を幼少期から知らせるのが狙いとされている。教育委員会として今後、学校と協議しながら進めていきたい。

問 本来AEDは24時間、常時利用出来るようにしておくことが肝心ではないか。公共施設等に設置されているAEDは24時間利用できない。そこで屋外型収納ボックス、警報付きがある。また町内のコンビニにAED設置協力で24時間利用できる環境整備についてはどうか。

答 AEDの屋外の設置については今後更新時期に合わせ検討して進めたい。コンビニにも協議をさせていただき24時間利用できるAEDの設置を考えている。

心肺蘇生教育とAED 24時間使用の推進を！

「ジュニア救命士」
制度の導入を！



長岡 照美

中学生の希望に応える 部活動充実を目指して



少子化にマッチした
個人スポーツを！

竹之内 剛

問 少子化で個人スポーツが注目される中、特に陸上は個人スポーツとして推奨されている。現在上牧町の総合型スポーツクラブでは陸上クラブに登録する児童は約80名おり、中学校でも陸上競技の継続を希望する児童の保護者が教育委員会に中学への陸上部設置を要望した件について伺いたい。

答 教育委員会での一存では決められないので教育長、学校と話し合い検討すると返答した。

問 協議の結果はどうなったか。保護者に返答はされたか、まだならば理由を伺いたい。

答 部設立の決定権は新しく赴任する校長があり、今の段階では返答しかねる。

問 陸上部設立について教育長の見解を伺いたい。

答 子ども達の願いは叶えたいが、既存の部活動に支障をきたさないよう教員確保に尽力した。新年度に学校の状況を踏まえて陸上部の設立を検討する予定である。今後、働き方改革などの施策も考慮しながら教師の負担を減らすべく、外部コーチ指導及び地域総合型スポーツクラブ等との連携についても前向きに検討していきたい。

問 地方自治法・地方公務員法の改正により、地方公共団体では、2020年度から『会計年度任用職員制度』が創設され、臨時・非常勤職員の任用要件が厳格化される。上牧町の臨時・非常勤職員は何名か。

答 臨時・非正規職員は100名です。その内フルタイム28名、短時間は72名です。

問 臨時・非正規職員の平均時間給はいくらか。また、通勤費や諸手当は支給しているのか。

答 事務職等は850円、給食調理師免許取得者は950円、学童指導員970円、塵芥処理従事1000円、保健師等1400円で通勤費勤務期間で期末手当を支給している。その他手当は支給していない。

問 年休・病気休暇は付与されているのか。

答 年次休暇は労働基準法に基づき支給、病気休暇はありません。

問 地方自治法・地方公務員法が改正される機会に、臨時・非正規職員の給与や休暇等の改善を求める。

答 会計年度任用職員制度の条例作成にあたり十分検討を重ねたい。

『会計年度任用制度』 条例策定準備について

労働条件や賃金の
待遇改善を求める



東 充洋

平成30年2月17日(土)
第7回
議会報告会

「皆さんと語り合う座談会」 を開催しました!!

第7回上牧町議会報告会を2月17日(土)2000年会館多目的室において開催しました。内容としては①子育てママ就業支援事業について②学校施設空調設備工事について、この2事業を柱に報告と質疑応答を行いました。参加者の皆さんには活発な質疑やご意見を頂きありがとうございました。

○報告についての質疑応答の要旨

○子育てママ就業支援事業について

Q. 子育てママ就業支援事業のテレワーク賃金は、時間制によるのか、それとも仕事量によって決められるのか教えてください。

A. 子どもを連れて自分の時間に合わせて仕事をすることになっており、賃金は時間によって決められることになっています。

○学校施設空調設備工事について

Q. 学校施設へのエアコンの設置工事で、特別教室や職員室は対象となっていますか。

A. 職員室やコンピューター室、特別教室の一部は既に設置されています。

町として対象とする教室については学校現場と協議のうえ、設置工事を進めて行くことです。



会場でのアンケートによるご意見

- ・オリンピックなど時期を考慮されたい。
- ・細かく説明されて良かった。
- ・コミュニティバスの運行の見直しとともに予算も必要なことは思いますが、デマンドタクシーの運行を老人の為に考えてほしいです。
- ・議会報告会は年1回で時間を長く取ってほしい。
- ・出前的な座談会を開催してほしい。



ご協力
ありがとうございました

5月の臨時会は 5月14日開催予定

- ・第1回上牧町議会臨時会
平成30年5月14日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成30年5月10日(木)
午前10時から

編 集 後 記

お問い合わせ

TEL 0745-76-1001
FAX 0745-76-1003

▼平昌で開催された冬季オリンピック・パラリンピックも、日本選手の活躍で大いに盛り上がり、盛況の中閉幕しました。▼先日開催させて頂きました第7回議会報告会が、丁度フィギュアスケート羽生結弦選手の競技時間と重なった関係からか、いつもより参加者は少なかったですが、羽生選手の演技に負けない闊達な意見交換ができたと思っています。

広報委員会
委員長 遠山健太郎
副委員長 牧浦 秀俊
委員 石丸 典子
委員 竹之内 剛
委員 長岡 照美
委員 服部 公英
委員 康村 昌史